

福祉サービス第三者評価の結果

様式第9号



1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概況

施設名称	津軽野保育園	種別	保育所		
管理者氏名	園長 渋谷省吾	開設年月日	昭和44年4月1日		
経営主体	社会福祉法人 松島中央厚生会	定員	120人	受入可能人数	150人
所在地	(〒037-0013) 青森県五所川原市大字米田字ハッ橋67-2				
連絡先電話	0173-35-2368・0173-26-0712	FAX電話	0173-34-4123		

(2) 基本情報

サービス内容(事業内容)	施設の主な行事
1.乳児保育 2.一時保育 3.障害児保育 4.ふれあい保育 5.地域活動 ・世代間交流事業 ・異年齢交流事業 ・育児講座・育児と仕事両立支援事業 ・障害児保育推進事業	4月 入園・進級式、歯磨き講習会、りんごの蕾の観察 5月 子どもまつり、りんごの花見と人工授粉 6月 保育参観、プール開き、りんごの実めぐり 7月 親子バス遠足、七夕まつり、りんごの袋かけ 8月 りんごの袋はぎとシール貼り、プール納め 9月 運動会、十五夜の集い、りんごの葉とり 10月 歯磨き講習会、園祭、りんごの収穫(北斗) 11月 七五三お祝、りんごの収穫(ふじ)、りんごの木冬支度 12月 クリスマス発表会、クリスマス子ども会、もちつき会 1月 保育参観、りんごの木の観察、りんご工場見学 2月 節分豆まき会、りんごの枝切り 3月 雛祭り、卒園式、お別れ会、りんご芽出し観察とかびはぎ
居室概要	居室以外の施設設備の概要
<1階> ・保育室3 ・小ホール1 ・ホフク乳児室4 ・調乳室2 ・もく浴トイレ1 ・湯沸室2 ・職員室1 ・医務室1 ・休憩室兼談話室1 ・調理室1 ・食品庫1 ・調理員休憩室1 ・通用口1 ・下足室1 ・トイレ4 ・風除室1 ・機械室1 <2階> ・遊戯室1 ・ステージ1 ・倉庫1 ・放送室1 ・トイレ1 ・踊場階段1	・防犯カメラ1台設置 ・AED設備設置 ・非常通報装置設置 ・屋上プール設置 ・全面床暖房設置 ・駐車場設置



(2階遊戯室)

職員の配置

職種	人数	職種	人数
園長	1	栄養士	3
主任保育士	1	嘱託医(内科)	1
保育士	21	嘱託医(歯科)	1
看護師	1	園バス運転、清掃員	各1(業務委託)

2 評価結果総評

◎ 特に評価の高い点

保育園創立(昭和44年)当時の地域は、季節保育所的な乳幼児の保育や教育をする場が無い農村地帯でしたが、その地域の方々の強い要望と創立者(前理事長)の児童福祉に対する深い想いで、保育園を篤志で創立したことなど、聴き取りや資料等で良く分かりました。現在も地域の保育・福祉ニーズに対応し、保育所の特性を生かした地域の子育て支援活動など、園・家庭・地域が一体となった保育活動の実践が高く評価されます。

保護者の仕事と子育て両立支援として、延長保育や障害児保育の補助事業の他、一時保育や休日保育(今年度より補助事業)、学童保育や家庭教育学級等、多くの自主事業が行なわれており、多様な保育ニーズに対応した事業運営がなされています。また、保育サービス向上の為に職員の資質向上を図り、自己研修計画・評価シートの活用や社会保険労務士と連携した人事評価規程の策定、職員によるコンピテンシー(能力や適格性の自己申告評価)の導入など、一人ひとりの意識を高める取り組みがなされている事も評価されます。

施設整備面では、地域の保育ニーズに対応する定員増や全面改築・増築を実施し、各保育室共子どもの成長や体調、活動・行事等に応じ、開放可能な保育室となっています。また、乳児室の弾力性のあるフローリングや各保育室入口の扉窓にアクリルを使用するなど安全面にも良く配慮していることなど、高く評価されます。

◎ 改善を求められる点

事業計画や中長期計画等は法人や施設毎の理念・方針等を基に、内容も広く詳細に分類し作成されていますが、管理者層や理事会が主体となって作成し、また各マニュアル等は管理者層と一部の職員での作成となっていますので、職員全体が関わる事業計画等の部分や各マニュアル等の作成・見直し等に職員の意見を取り入れて作成していくことが望まれます。それにより、職員の共通理解や周知、意識の向上が図られ、更なる保育サービスの向上に繋がっていくものと思われまます。

人事評価規程が策定され自己申告評価等を行っていますが、更にそれらを通して通常から管理者と職員の意識や意志の疎通を図り、書面等でのフィードバックを充実させ、客観性や透明性の確保に配慮した実効性のある取組みとなることを期待します。

3 第三者評価に対する事業者のコメント

第三者評価の受審は、当園にとって、画期的な変革を与えてくれました。その第一は、管理職も含め全職員が、様々な問題を素直に受容し、意識改革へのスタートと受け止めていることです。その第二は、問題点が具体化されたことにより、福祉サービスの質の向上へ向けての筋道となる羅針盤を得たことです。そして第三は、利用者である子どもや保護者にとって、よりよい福祉事業や保育サービスの必要性を具体的に認識できたことです。

今後は、これらの具体的な問題について、園内研修や職員会議などにおいて継続的に取り組みながら、実質的な共通理解を図っていきます。私たちは、保護者や地域社会と連携しながら、子どもの最善の幸福を願い、心温まる豊かな保育園を目指し、職員一丸となって取り組んでいきます。



平成 23 年 11 月 10 日 提出

(評価機関→推進委員会)

評価機関	名 称	福祉サポートサービス
	所 在 地	青森市青柳 1 丁目 8-28
	事業所との契約日	平成 23 年 6 月 1 日
	評価実施期間	平成 23 年 6 月 1 日 ~ 平成 23 年 9 月 27 日
	事業所への 評価結果の報告	平成 23 年 10 月 28 日

評価細目の第三者評価結果

評価対象	I 福祉サービスの基本方針と組織	評価結果	評価結果講評
I-1	理念・基本方針		<p>「すべての子どもと子育て家庭等を対象に、豊かな生活の営みの実現と子育て文化の創造を目指して…」と保育理念に謳い、保育基本方針・保育目標等が具体的に明記され、玄関や廊下、各保育室に掲示し職員への周知が図られています。保護者等へは、入園のしおり等に掲載し入園式等でも説明周知に心がけていますが、更に、法人や保育園の運営内容の理解を促すためにも、公共施設や集会所等への資料等を配置したり、ホームページ等により、広く地域へ周知していく取り組みが望まれます。</p>
I-1-(1)	理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	a	
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	
I-1-(2)	理念、基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	a	
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	
I-2	計画の策定		<p>平成19年度より中・長期計画が策定されており、組織体制づくりや新たな保育サービスの実施・人材育成等についての具体的な内容とビジョンが明確にされています。計画も法人と津軽野・長橋保育園それぞれ作成され、理事会での承認や報告もなされています。事業計画の策定は、各担当者の意見を集約し主任保育士が起案し、保育内容や組織運営等、詳細に作成しています。事業計画が自由に閲覧できるように配置していますが、職員や利用者等の理解を促すには十分とは言えず、今後は職員全員の共通理解と意識の共有を図る取組もと、利用者等へは簡潔にまとめた物の配布や保護者会等で詳しく説明していくことが望まれます。今後、職員や保護者の意向等も組み入れた計画の作成を期待します。</p>
I-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	a	
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	
I-2-(2)	事業計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-①	事業計画の策定が組織的に行われている。	a	
I-2-(2)-②	事業計画が職員に周知されている。	b	
I-2-(2)-③	事業計画が利用者等に周知されている。	b	
I-3	管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1)	管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	
I-3-(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a	
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	

評価対象 II 組織の運営管理	評価結果	評価結果講評
II-1 経営状況の把握 II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	 a a b	<p>各保育団体等へ加盟し、社会福祉全般の動向をいち早く見極め、法人・保育園経営に良く反映させています。</p> <p>財務管理は、月次試算等を会計事務所に委託し、専門家からの意見や指導を取り入れています。今後は地域の子ども数や世帯数を把握し、中長期計画等に反映させたり、福祉事業・保育事業などに関する有識者等から指導・助言を受ける体制づくりを期待します。</p>
II-2 人材の確保・養成 II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。 II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。 II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 II-2-(4)-① 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	 a b a a a a b a	<p>事業計画や中・長期計画において、法人が求める職員像や配置計画があり、それに沿った人事管理が行なわれています。また、社会保険労務士と職員の参画で人事評価規程が作られ、職員によるコンピテンシーを基に人事考課を行い、個人面談等により職員の意向等を聴き取り、資質向上と処遇の改善等を図っています。</p> <p>今後、人事考課等に関しては、中立性を保ち、職員一人ひとりへ評価等の丁寧な説明を付けるなどフィードバックを充実させて行っていけば、更に職員の意識向上に繋がっていくものと思われま。</p> <p>有給休暇や育児休暇等取りやすい環境にあり、職員からの自己申告書の提出で、就業状況の意向を把握するよう努めています。今後更に、職員との意志の疎通を図り継続していくことを期待します。</p> <p>福利厚生面では、インフルエンザ予防接種や健康診断の付加検診を行ったり、職員の交流・懇親の場を年1回設けています。</p> <p>質の向上では、自己研修計画・評価シートを用いて個々の研修成果や実施状況が把握できる仕組みになっています。今後は計画に対する評価及び見直しに対し、管理者層の評価や適切なアドバイスを加えていくことが望まれます。</p> <p>実習生の受け入れでは、マニュアル等を整備し、事業計画にも課題等を記載しています。今後更に、育成プログラム等について話し合いや見直しを全職員で行って、効果的な実習指導の継続を期待します。</p>
II-3 安全管理 II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のため取組を行っている。 II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	 a a a	<p>緊急時・災害時又は安全確保のための各マニュアルが作成されており、また毎日のミーティングの際に子どもの体調の変化やヒヤリハットについて報告がなされ事故防止に努めています。また、感染症の情報等を誰でも目に付くところに貼り、情報の共有や周知が図られ、安全確保の体制が整備されています。</p> <p>今後更に、職員全体で状況に応じたマニュアルの見直しや、地域と連携した対応計画や分担等の体制づくりに取り組んでいくことを期待します。</p>

評価対象 II 組織の運営管理	評価結果	評価結果講評																					
<p>II-4 地域との交流</p> <p>II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="240 286 879 566"> <tr> <td data-bbox="240 286 467 376">II-4-(1)-①</td> <td data-bbox="467 286 879 376">利用者と地域とのかかわりを大切にしている。</td> <td data-bbox="884 286 999 376">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 376 467 472">II-4-(1)-②</td> <td data-bbox="467 376 879 472">事業所が有する機能を地域に還元している。</td> <td data-bbox="884 376 999 472">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 472 467 566">II-4-(1)-③</td> <td data-bbox="467 472 879 566">ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。</td> <td data-bbox="884 472 999 566">b</td> </tr> </table> <p>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="240 629 879 775"> <tr> <td data-bbox="240 629 467 701">II-4-(2)-①</td> <td data-bbox="467 629 879 701">必要な社会資源を明確にしている。</td> <td data-bbox="884 629 999 701">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 701 467 775">II-4-(2)-②</td> <td data-bbox="467 701 879 775">関係機関等との連携が適切に行われている。</td> <td data-bbox="884 701 999 775">a</td> </tr> </table> <p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="240 837 879 1025"> <tr> <td data-bbox="240 837 467 931">II-4-(3)-①</td> <td data-bbox="467 837 879 931">地域の福祉ニーズを把握している。</td> <td data-bbox="884 837 999 931">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 931 467 1025">II-4-(3)-②</td> <td data-bbox="467 931 879 1025">地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。</td> <td data-bbox="884 931 999 1025">a</td> </tr> </table>	II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a	II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b	II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a	II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a	II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a	II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a		<p>一時保育や地域の子育て支援事業等の自主事業の実施や、中高生の職場体験受入れ、園庭開放等を行い、地域や保護者等に保育園の持つ機能等を積極的に還元、提供しています。</p> <p>ボランティア受け入れについては、マニュアル等整備されています。今後、身近な方々(祖父母、卒園した中・高生等)へボランティアを依頼したり、効果的な受け入れについて、全体で話し合いをするなど、なされてみてはいかがでしょうか。</p> <p>五所川原保育連合会や小学校・児童相談所等と不定期ではありますが、連絡会や話し合いの場が設けられています。今後は虐待の疑いのある子どもや特別支援等の子どもへの対処等のために、関係機関との定期的連絡会等を設けるなどネットワーク化を図っていけば、更に充実した連携が保たれるものと思います。</p> <p>中・長期計画において、マタニティーサロン事業を計画しており、実施に向けて準備しています。また学童保育事業を自主事業で行なっており、保育園同様延長学童保育を実施し、保護者のニーズを把握した事業・活動が行なわれています。</p>
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a																					
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a																					
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b																					
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a																					
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a																					
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a																					
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a																					
評価対象 III 適切な福祉サービス	評価結果	評価結果講評																					
<p>III-1 利用者本位の福祉サービス</p> <p>III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p> <table border="1" data-bbox="240 1249 879 1480"> <tr> <td data-bbox="240 1249 467 1379">III-1-(1)-①</td> <td data-bbox="467 1249 879 1379">利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</td> <td data-bbox="884 1249 999 1379">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1379 467 1480">III-1-(1)-②</td> <td data-bbox="467 1379 879 1480">利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</td> <td data-bbox="884 1379 999 1480">a</td> </tr> </table> <p>III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。</p> <table border="1" data-bbox="240 1552 879 1671"> <tr> <td data-bbox="240 1552 467 1671">III-1-(2)-①</td> <td data-bbox="467 1552 879 1671">利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</td> <td data-bbox="884 1552 999 1671">a</td> </tr> </table> <p>III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p> <table border="1" data-bbox="240 1765 879 2051"> <tr> <td data-bbox="240 1765 467 1861">III-1-(3)-①</td> <td data-bbox="467 1765 879 1861">利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</td> <td data-bbox="884 1765 999 1861">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1861 467 1957">III-1-(3)-②</td> <td data-bbox="467 1861 879 1957">苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</td> <td data-bbox="884 1861 999 1957">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1957 467 2051">III-1-(3)-③</td> <td data-bbox="467 1957 879 2051">利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</td> <td data-bbox="884 1957 999 2051">a</td> </tr> </table>	III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	III-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a	III-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	III-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	III-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a		<p>保育理念や基本方針に「…常に子どもの最善の幸福を願う…」と謳われており、職員会議や、毎日行われるミーティングでも、子ども一人ひとりに対する共通理解を持ち、日々の保育を行っていることが良くながえました。</p> <p>子どもや家庭のプライバシー保護については、マニュアルの整備や職員と守秘義務の誓約を交わしたり、園からの発行するプリント等の名前や写真、電話番号の掲載の了解を確認するなど徹底されています。</p> <p>利用家族等の意向把握として、複数回のアンケート調査を実施し、その結果内容に基づいて色々な話し合い等もなされています。保護者からも「すぐに反応があり良かった」という声が聞かれました。</p> <p>また、連絡ノートの利用や送迎時の対話を行ったりすることで、日常のコミュニケーションを図り、保護者と子どもの事に関する共通理解をもつためのクラス懇談会やプライバシーに配慮した相談室での個別面談等も行われています。</p> <p>苦情解決の仕組みは掲示されていますが、第三者委員への相談の仕組み等、保護者への周知、説明などの工夫が望まれます。</p>			
III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a																					
III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a																					
III-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a																					
III-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a																					
III-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b																					
III-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a																					

評価対象 Ⅲ 適切な福祉サービス	評価結果	評価結果講評	
Ⅲ-2 サービスの質の確保		<p>職員による自己評価は以前から実施されていましたが、管理者層の講評等も加え、改善に向けた評価や課題解決の適切なアドバイスをし、自ら保育や業務に反映させていく個々の意識の向上等が望まれます。また、それら個々の課題解決の話し合いを園全体で行い、常に組織として改善や評価を行っていく体制づくりを期待します。行事等に対するアンケート結果の改善については良く話し合い、対応がなされていまして、同様の取組を継続させてみてはいかがでしょうか。</p> <p>園としての標準的な保育を行う為の保育課程など各クラスにきちんと整備され、それに基づいた指導計画も作成されています。今後、それらの作成、見直し、評価について、職員全体の参画と保護者等の意向も踏まえ、定期的に検証していく仕組みの構築が期待されます。</p> <p>全園児の個別指導計画が作成され、各担当保育士が見直し、評価を行っており、児童票へも一人ひとりの状況を詳細に記録していました。児童票(紙媒体)の管理も適切になされていますが、今後はUSB等のデータに関する具体的な管理方法について話し合われてみてはいかがでしょうか。</p> <p>保育園前の道路際に、子どもや大人も目を引くような動物キャラクターのついた大きな看板を設置し、保育園の事業内容や特色を分かりやすく掲示しています。入園希望の保護者等に対しては、保育園要覧や入園のしおりを基に詳しく説明し、また、玄関に園だよりやクラスだより等を常に掲示して、子育てサークル利用者にも保育園の様子など情報提供がなされています。</p> <p>入園のしおりに一時保育や延長、休日保育等の金額も詳しく明記されていますが、父母会費等についての説明不足がアンケートで指摘されていたので、改善が望まれます。卒園した子どもにも、園の行事にも案内するなど、継続した関わりを大事にしている事がうかがえました。</p> <p>毎年4月に記入提出してもらう家庭調査書を全てデータ入力し、次年度からは変更事項(箇所)のみの提出にするなど、保護者の記入省略化と速やかな変更情報の共有化が可能となっていることが、非常に高く評価されます。</p> <p>全ての子どもの個別指導計画が毎月作成され、発達や成長に応じたねらいを達成するよう取組み、評価と反省、成果と課題も記録し、日常の保育を行っていることも高く評価されます。また、個別の課題等についても、職員会議等で話し合わせ、情報の共有化も良くなされています。</p>	
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。		b
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。		a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。		b
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実践状況の記録が適切に行われている。		a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。		a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。		a
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a	
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス計画の評価・見直しを行っている。	a	

保育サービス内容評価

評価対象 A-1 保育所保育の基本	評価結果	評価結果講評	
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		<p>保育課程は、改訂された保育所保育指針、児童福祉法、更に幼稚園教育要領等を基に、発達過程や地域の伝統、状況、園独自の特性を踏まえながら丁寧に作成されています。また、見直しや改善についても、常に状況変化の把握や、より実態に即した保護者支援・指導等を考慮していきよう努めています。</p> <p>乳児室は 0,1,2 歳児オープン保育ができるようになっていますが、更に平成12年に増築(126 m²)されたこともあり、発達や活動に応じて間仕切りの出来る広々としたスペースとなっています。採光も良く清潔で快適な生活環境を維持し、床材もクッション性の高いものを使用するなど安全面や防音性にも配慮した保育室となっています。</p> <p>3歳以上児の各クラスも独立性を保ちながらも往来できる扉があり、異年齢児の活動、交流等を配慮した保育室です。安全面では入口ドア窓のアクリルガラスや角のないロッカーの設置、衛生面では衣類の乾燥の為に昇降バトンの使用など様々な工夫、配慮がなされています。園内の男女別のトイレや、コーナー遊びや自由遊び等、多目的に使用できる小ホールなど、設備、環境面の配慮に、感心し高い評価を得られるものだと思います。</p> <p>小学校との連携では、向かいが小学校ということもあり、相互の行事への参加や年度初めの書類、意見伝達などなされています。卒園児の行事への招待や地区内外の学童保育の受入れなどもしていますので、今後更に話合いの機会を設けるなど連携を高めていくことを期待します。</p> <p>子どもたちが、長時間生活する環境としては、広い園舎や周りを自然に囲まれた環境の中、体を十分動かし、様々な活動や体験をし、発達、成長できる十分な環境となっています。</p> <p>更に、その恵まれた環境の中で、職員同士の連携、協力、協同の基、自発的な準備、整備と状況に応じた主体的な環境づくりに努めることを期待します。</p> <p>以前から行っていた園内での自己評価と今回の第三者評価受審における自己評価でも、勤務・経験年数により自己評価の趣旨や意義等の理解にバラツキが見られましたが、指導計画等の反省、評価などから、自らの保育実践に対して振り返り、改善などが図られています。</p>	
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。		a
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。		a
A-1-(2) 環境を通して行う保育		<p>生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p> <p>子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p> <p>子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p> <p>子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p> <p>子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。		a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。		a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。		a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。		a
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a	
A-1-(3) 職員の資質向上		<p>保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a	

評価対象 A-2 子どもの生活と発達	評価結果	評価結果講評
A-2-(1) 生活と発達の連続性		<p>今回の自己評価でも「静止の言葉などが出てしまう」という評価もありましたが、園内での自己評価、指導計画の反省、評価等から、子ども一人ひとりへの受容の意識、理解の深まりが感じられました。今後も経験を重ね、様々な状況に応じる配慮や知識を、更に深めていくことを期待します。</p> <p>障害のある子どもの受入れについて、障害児保育事業とふれあい保育事業を実施し、統合保育の中で子どもの特性を配慮した保育が行われています。個別に関係機関との連携、会議等での話し合いも行われていますが、障害児への理解を更に高める為に、専門家を招いて内部研修や外部研修会等への積極的参加、派遣など、園全体と取り組んでいくことを期待します。</p> <p>延長保育では異年齢児の交流や、時には学童保育の子どもたちとのかわりもあり、夕食(軽食)の提供もされています。今後更に、コーナー畳を移動配置するなど延長保育の内容を充実させていく事を期待します。</p> <p>子どもの健康状態等について、毎日のミーティングで確認し連絡事項なども全職員に周知する仕組みとなっています。今後もきめ細かい申し送りの徹底と健康の重要性を保育の中で指導していくことを期待します。</p> <p>乳幼児の給食やアレルギー疾患への対応では、看護師1名と栄養士を3名配置するなどして離乳食やアレルギー除去の代替食を提供するなど配慮しています。今後も安全・衛生管理の徹底や給食会議を充実させ、保護者等も安心し、子どもたちも楽しんで食事する環境づくりの継続を期待します。</p>
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a	
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a	
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	
A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	
A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a	
A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	
A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a	
A-3 保護者に対する支援	評価結果	評価結果講評
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		<p>毎日の子どもの喫食状況について、3歳未満児は保育士が保育日記に記録し、3歳以上児は自ら、おたより帳に食べ具合を記しています。また、自園のりんご畑での様々な果物の栽培収穫や園庭の菜園活動など、子どもも保護者も楽しみながら自然に食育に感心、興味を持てるようになっています。献立表も食材の栄養素別に赤・黄・緑で印字するなど給食、おやつサンプル展示と共に、良く工夫がなされています。</p> <p>保護者支援、共通理解では、日常的な情報交換(連絡ノートや送迎時の対話)の他に、クラス懇談会やプライベートに配慮し面談室で個別相談の時期(年2回)を設けるなど、共通理解と信頼関係を深めています。</p> <p>虐待について気になる事など、マニュアルに基づき常に話し合い、早期発見や予防に努めるなど、関係機関との連携も踏まえ、対応しています。</p>
A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	
A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a	